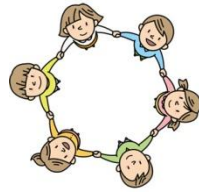


# 心の輪22R



『路上に散った正義感』という資料を通して、  
『強い正義感』について考えました！

119番通報男が犯人

けんか、会社員死なす 逮捕

## 若い正義感、路上に散る

# 強盗追い2学生死傷

深夜、二階から事件を目撃

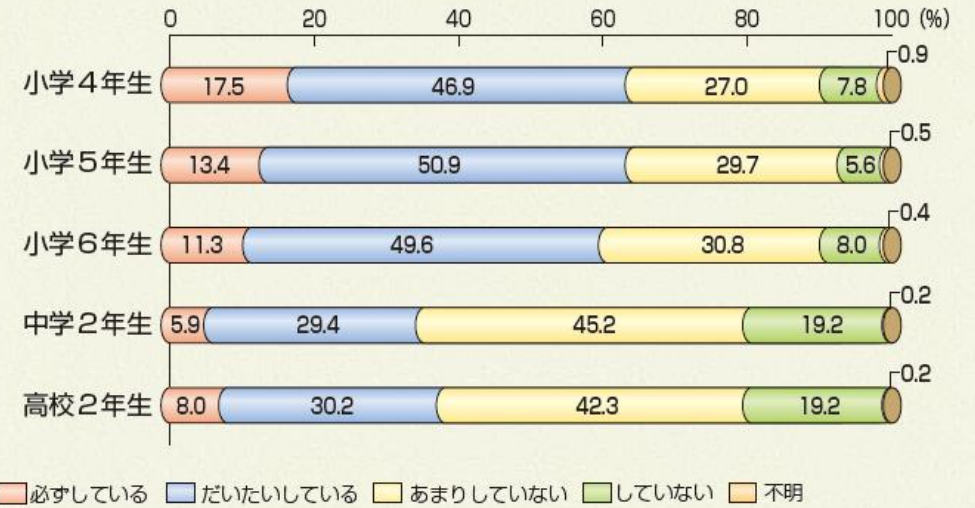
### 犯人が刺して逃走

#### 交番目の前、警官不在

横浜

男性が金をあどし取られた現場

「友達が悪いことをしていたら、やめさせること」  
■あなたはどのくらいしていますか。



国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」(平成22年度)

文部科学省資料  
『心のノート』P.162より引用



上のグラフを見ると、学年が上がると、友達が悪いことをしていたらやめさせる人の割合が減ってきていることが分かる。止めなければいけないのは分かっているのに止められなくなるのはどうしてだろう？どうすれば止められるようになるのだろうか？



最大の悲劇は、悪人の暴力ではなく  
善人の沈黙である。  
沈黙は暴力の影に隠れた同罪者である。  
マーティン・ルーサー・キング (キング牧師)

冷たい心を持つ人と沈黙は同じようなものだったら、この世は同罪者がとても多いと思った。だからこそ、自分も冷たい心を無くしていけるように頑張りたいと思った。

自分が他人に任せきりで、「いつも他の誰かが言ってくれる、やってくれる」と思うのは、ただの卑怯者なんだと思った。でも、自分から積極的にやるのは良いことだけど、先のことも考えた方が良く、難しいと思った。

私はこの時間を振り返って、支え合い、助け合うことをこれからは、今以上にしていこうと思いました。そして、この学生4人の記事をたくさんの方に知って頂いて、たくさんの方に私と同じように思ってもらえれば良いなと、すごく感じました。

この学習で『見て見ぬ振り』はいけないと思った。しかし、今、追いかけてやる決心まではいけないと思った。この出来事をきっかけに、僕も本当の善人になるための一歩を踏み出せたらいいなと思う。

私はこの投書を読んで、この女性は「この事件を他人事と見ず、自分のことのように考えて欲しい」ということを伝えたいのかなと思いました。

私はこの時間を通して、今の日本はとても冷めきっているんだということを感じました。また、なぜこの大学生のように、みんな「自分がやろう」という気持ちにならないのか、とても疑問に思いました。私は、見て見ぬ振りをする同罪者にならないような生き方をしたいと思いました。

「路上に散った正義感」という本当にあった話を読んで、この4人の大学生は、見て見ぬ振りをするのではなく、自分の命のことよりも犯人を捕まえることを優先していてすごいと思いました。困っている人がいるのに笑っている人がいるというのは、あってはならない話だと思いました。

僕は、この時間を振り返って、この追いかけていった青年を、「追いかけたのに殺されてかわいそう」などと思わずに、この事件から、「これからどうこのような事件がなくなるか」を考えないといけないということが大切だと思いました。

追いかけたのに殺されてしまい、とても悲しいし、そんなことをした犯人が許せない。そして、今の冷めきった気持ちの人の多さに驚いた。もっと正義感のある人が増えて欲しい。

冷めきった心が増えている中で、犯人を追った大学生のように、正義感に溢れた人もいるわけで、私もそんな風な人になれるように、そして、人助けができるような人間になりたいと思った。

もし、私が事件や事故を見かけて、困っている人がいたとしても、怖くて助けられないと思った。でも、困っている人を見捨てるわけにはいかないので、できることだけでもしてあげたいと思う。

今日の話で、「警察に通報すればいい」という意見を私は出しました。でも、「通報すれば、自分は、あとは何もなくていい。警察がしてくれる。」と考えていました。女子高校生の投書を読んで、「見て見ぬ振りはダメ」「正義感」「行動しようと思う心はすごく大事だ」ということを知りました。

学校の中で考えると、例えば、『いじめ』があった場合、この大学生のような子がクラスにいないければ、いじめはずっと続くと考え、「今の時代は怖いなあ」という風に思いました。

人を助けようとして殺されたりするのは、すごく悲しいことだと思いました。でも、助けずに見て見ぬ振りをする人より、すごく良いことをした立派な人たちだと思いました。これからは、このような事件がなくなり、見て見ぬ振りをせず、人を助けられる人が増えたら良いと思いました。

私も、学生の行動を「すごいけど、もっと考えて行動したら…」などの言葉で終わらせたくないと思った。自分は、「いじめられている人を助けることができる」と心から言える。でも、自分以外の人絶対助けるとは言えない。それが悲しい。「自分が大切」という考え方をしてしまう人間は、かわいそうだと思う。

私は、見て見ぬ振りをしてしまうような場面にあったことはそんなにないけど、これからは限らないので、学生のように、助けようとする心を忘れないようにしようと思います。

今日、僕は、この事件について、学生の人たちは、数少ない正義感を持ったすごい人だなと思いました。この人たちの正義感を、この世の中の人は無駄にしてはいけないと、この授業を通して思いました。

どうしても、「自分が良ければ他は別にどうでもいい」と思ってしまうし、暴力があっても沈黙してしまうと思う。しかし、少しの勇気を振り絞って、少しでも、この学生たちようになってみたいとも思う。